

沖縄カトリック中学高等学校
学校通信

野ばら 9月号

発行
沖縄カトリック中学高等学校
〒901-2215
宜野湾市真栄原3-16-1
TEL098-897-3300
<http://www.catholic-okinawa.ed.jp/>
2016年9月1日(木)

谷川俊太郎の詩「いや」に教えられる

校長 夏見隆晴

いや 谷川俊太郎 『こどもたちの遺言』(佼成出版社)より

いやだ と言っていいですか／本当にかからだの底からいやなことを
我慢しないでいいですか／我がままだと思わなくていいですか
親にも先生にも頼らずに／友達にも相談せずに
ひとりでいやだと言うのには勇気がある／でもごまかしたくない
いやでないふりをするのはいやなんです／大人って分からない
世間っていったい何ですか／何をこわがってるんですか
いやだ と言わせてください／いやがってるのはちっぽけな私じゃない
幸せになろうとあがいている／宇宙につながる大きな私のいのちです

この詩に初めて出会ったのは、もう7年くらい前のことになるのでしょうか。中高生を相手に長年働いてきた私にも、いよいよ仕事の幕を閉じる時が来たのだと思い、「中高生とは何だったのか」と日々考えを巡らしていた時、書店でこの本と出会い上記の詩を記憶に留めていたのです。というより、日々接してきた彼ら彼女たちは、わたしたち大人にこういうことを日々訴えようとしていたのかという思いで、繰り返し、繰り返し読み、記憶に留めていたように思います。私たち大人は、口では我が子に大きく成長して欲しいと願いながら、現実には安全志向を子供たちに求めてきたように思います。

私たちが日々接する子供たちのほとんどは、いわゆる「良い子」です。日々の学校生活においても、時に羽目を外すことはあっても、世間から見れば羨ましがられるような子供たちです。しかし個々の子供たちの心の中は、相当に大きなマグマが存在し、機会さえあれば噴出できるような構造になっているのでしょうか。わたしたちは、子供たちが安全地帯で暮らし、少しだけ人さまのお役に立ってくれば、それで満足ですなどと言いますが、子供たち自身は、きっと心の中で宇宙規模の夢を追っているのかも知れません。

勿論、人生は夢だけで生きていけるわけではありません。現実の世界を十分に理解し適応して生き抜く知恵も必要です。そして知恵と知識とは別物であるのに、狭い世間でしか通用しないような知識の獲得だけに汲々としている社会に、わたしたち教師や親が同調するなら、この詩がうたっているように「世間っていったい何ですか、何をこわがっているんですか、いやだと言わせてください」などと言いつづ賢い子供たちも出てくることになるでしょう。宇宙規模とは言わないまでも、今の時代に、子供世代を教育しなければならないわたしたちも、少しばかり子供たちの言い分にも耳を傾けることも必要です。

オリンピックで湧いた夏。あるCMで、イチロー選手がひたむきにトレーニングする姿と、各アスリートが練習に汗を流すシーン、それに重ねて『イチローが嫌いだ』と語りはじめます。なぜなら『あの人が見ていると、限界という言葉が言い訳みたいに聞こえるから』『自分に嘘がつけなくなるから』『努力すら楽しまなきゃいけない気がするから』『どんな逆風もチャンスに見えてくるから』と続く。圧倒的な存在であるイチロー選手を尊敬するアスリートの思いが「イチローが嫌いだ」という言葉に込められている。

そして、『でも、同じ人間のはずだ。』『さあ、世界を動かそう。』のタイトルで終わる。

どんなに年齢を重ねても、不振がささやかれても、常に進化を追い求めてきたイチロー選手の姿から、「イチローにできて、なんでわたしにできないんだ・・・」と、限界に前向きに挑戦する強い思いが伝わってきます。輝かしい舞台裏の隠された、ひたむきな努力、一つの道を、自分を輝かせながら成長させていくことの素晴らしさを感じられ、胸が熱くなる映像です。

学校生活のなかにも、日々、挑戦する場面に出会うことがあります。

放課後の教室で補習をしていた時のこと、ある生徒が、「昨日も、4時間も勉強した。」とつぶやくと、「頭もいいからなあ。」と補習生徒。すると、「教科書読んだら、いろいろわかって、面白い。やってみたら。出来るよ。」と、互いに視線を交わし、「ありがとう。」と言った後、猛烈に集中した生徒達。ほんの数分間のやり取りでしたが、出来る級友も努力していたこと、そしてそれを楽しみながら取り組んでいることを知り、最後の『出来るよ』の一言に励まされた瞬間でした。

「勉強も、やればやるほど結果につながるし、将来の夢へ近づくから、辛いときもあるけど楽しくなってきた」と家庭学習帳を眺める生徒。みんな小さなイチローです。毎日の積み重ねと自分の成長を楽しみ、自信に満ちている表情の生徒たちを誇らしく思います。

スポーツだけでなく、学習、行事、学校活動の中で、生徒達が互いに関わりながら、努力する姿勢、自分を成長させる強さ、相手をみとめる気持ちが生み出せるきっかけを作ってあげたいものです。



の行事予定

日・曜日	行事計画
9月1日(木)	生徒集会 授業開始
2日(金)	午前授業 午後 English Festival
3日(土)	授業
7日(水)	委員会③
13日(火)	中学成績会議
14日(水)	高校生成績会議 小中交流 小4中3
17日(土)	平和講演会 PUP⑥ 中2 修学旅行説明会
19日(月)	敬老の日
20日(火)	高1、2 スタディ・サポート 高3 駿台マーク模試①
22日(木)	秋分の日 中学：地区陸上 高校：青パック
23日(金)	9/22の振り替え休日
24日(土)	オーストラリア姉妹校ホームステイ受け入れ(～29日(木))
28日(水)	遠足(中1, 3年、高校1年)
30日(金)	前期終業式・生徒会レク(午前)

生徒の頑張り！

☆第56回沖縄県中学校体操・新体操競技大会

総合1位(ゆか 2位、跳馬 2位、鉄棒 1位、あん馬 1位)

中3 中田 海斗君



☆第38回九州中学校陸上競技大会 男子共通 砲丸投げ(5kg)

第6位入賞 13m15cm

中3 藤原 孝史朗君

☆おきぎん杯第4 7回全沖縄ジュニア大会兼ジュニアオリンピック県予選

砲丸投げ(5kg) 第1位 13m72cm

中3 藤原 孝史朗君



☆第3回全日本アンダージュニア王座決定戦36kg級 優勝

中2 成上 聖斗君



お知らせ

国語科の大城吉秀先生が怪我療養のため、7月31日付で退職されました。一日も早い快復をお祈りください。

後任として糸数 千春(いとかず ちはる)先生を9月よりお迎えします。